

ベリーズ政治・経済報告（2026年2月）

【ポイント】

2026年2月のベリーズでは、内政面では国営通信会社ベリーズテレメディア社（BTL）による民間通信会社 Speednet（SMART）買収計画を巡り与野党対立が続き、民主連合党（UDP）による抗議活動及び下院本会議ボイコットが行われた。また、労働安全衛生法成立や CARICOM 域内自由移動制度関連法案提出等が実施された。治安面では、銃撃事件及び麻薬押収事件が複数あった。外交面では、ガイアナ大統領の当国公式訪問及び CARICOM 首脳会議参加等があった。経済面では台湾との農産加工協力事業、並びにコールセンター産業振興及びエネルギー価格調整等が報じられた。

1 内政

（1）与野党動向

ア 2月5日、ベリーズ市の社会保障委員会前で、UDP 支持者が BTL による SMART 買収計画に反対する抗議活動を実施した。参加者が敷地内への侵入を試みたため、警察が対応した。

イ 2月6日、UDP 議員団は同買収問題への抗議として下院本会議をボイコットした。UDP は SMART の資産評価及び負債状況の透明性が不足していると批判した。

ウ 2月12日、パントン UDP 代表は選挙区開発基金の配分を巡り政府を批判した。流出文書によれば、一部選挙区には月2万ドル以上が配分されているとされ、配分の公平性に疑問が呈された。

エ 2月16日、人民連合党（PUP）はベルモパンで全国党評議会を開催し、党創立75周年を記念するとともにブリセーニョ首相の党指導継続を支持した。また、SMART 買収問題については、公共事業委員会による協議を踏まえ交渉を一時停止する方針を支持した。

（2）治安・司法

ア 2月3日、レディヴィルにおいて家庭内紛争への警察対応中に米国人退役軍人が警察車両に発砲する事件が発生し、容疑者が逮捕された。

イ 2月11日、コロザル郡で警察が車両を捜索した結果、約11.4キログラムのコカインを押収し容疑者2名を逮捕した。

ウ 2月13日、元ベンケビエホ市長で元駐キューバ大使のサイド・グラ氏が未成年に対す

る強姦容疑で起訴された。

エ 2月16日、ベルモパンで銃撃事件が発生し若者2名が死亡した。警察は殺人事件として捜査を開始した。

オ 2月25日、ベリーズ市近郊サンドヒル村で警察が約4.3キログラムのコカインを押収する麻薬取締作戦を実施した。

カ 2月25日、ベルモパンで2月13日に発生した殺人事件に関連し、19歳の容疑者が逮捕された。

キ 2月26日、ベルモパンにおいて麻薬取締作戦が行われ、コカイン及び大麻を所持していた4名が逮捕された。

(3) 政策・行政

ア 2月9日、政府は労働安全衛生法（Occupational Safety and Health Bill）を下院で可決した。同法は労働者の安全確保を目的として、企業に対し職場安全確保義務を課すものである。

イ 2月10日、政府はCARICOM域内自由移動制度に対応する国内法案を議会に提出した。これにより域内一部加盟国間での居住及び就労の自由化が進められる。

ウ 2月10日、政府はトレド郡モンキーリバー村で沿岸侵食対策事業（約306,000ベリーズドル）を開始した。

エ 2月12日、政府はトレド郡サンホセ村及びイメリグローブ村において新たな給水システムを開設した。

オ 2月16日、政府は米州開発銀行（IDB）及びベリーズ大学と連携し、市民向けデジタル・リテラシー研修プログラムを開始した。

2 外交

(1) 2月2日、アリ・ガイアナ大統領がベリーズを公式訪問し、首都ベルモパンで開催された議会合同会議で演説を行った。両国は投資、教育、観光、デジタル分野等に関する複数の覚書を締結し、二国間協力の強化を確認した。

(2) 2月11日、ベリーズ政府と台湾政府は農産加工分野における技術協力事業(約410万米ドル)を開始した。

(3) 2月22~23日、ブリセーニョ首相はセントクリストファー・ネーヴィスで開催された第50回 CARICOM 首脳会議に出席した。

(4) 2月24日、フォンセカ外相は UNICEF ベリーズ代表代行と会談し、教育及び社会政策分野での協力について協議した。

(5) 2月26日、ブリセーニョ首相は CARICOM 首脳会議の機会にマルコ・ルビオ米国国務長官と会談し、越境犯罪対策等について意見交換を行った。

3 経済

(1) 2月5日、政府はコールセンター産業関係者との交流イベントを開催し、同産業が約9,000人の雇用を創出する主要サービス輸出分野であることが確認された。

(2) 2月13日、政府は液化石油ガス(LPG)の小売価格を引き下げた。

(3) 2月27日、統計局は2026年1月の貿易統計を発表し、輸入額は約2億7,100万ベリーズドル、輸出額は約1,950万ベリーズドルとなった。輸出ではバナナ及びペッパーソースの増加が見られた。同統計によれば、2026年1月のインフレ率は前年同月比約0.04%となり、燃料価格下落の影響により前月比では0.5%の低下となった。

4 主要経済指標

指標	2025年12月	2026年1月	前年同月との差
消費者物価指数(CPI、前年比)	+0.3%	+0.04%	▲0.26ポイント
貿易収支	▲246百万BZD	▲251.5百万BZD	▲約5.5百万BZD
輸出	25百万BZD	19.5百万BZD	▲約5.5百万BZD
輸入	271百万BZD	271百万BZD	+約28.5百万BZD

主な輸出品：バナナ、砂糖、ペッパーソース、海産物

(出典：ベリーズ統計局、ベリーズ中央銀行)

*1US\$は、2ベリーズドル(BZD)